

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語 I (R)	1	1-A

1. 学習の到達目標

平易な英語を使用することにより、英語を知る喜び、学ぶ楽しさを見つけ、英語に対する興味・関心、問題意識が高まることを期すると共に、英語を通して異文化に触れ、人権を含む社会問題全般に目を向け、考える機会を持つ。また、英文法の基礎学力の徹底を図り、大学進学への基礎づくりをする。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	LESSON1 [Kerama Blue] 中間考査	・単元を通して、慶良間の海を守るサンゴ礁の役割と島民の努力について考えさせる。 文法：be 動詞、一般動詞
	LESSON2 [Cool Japan]	・単元を通して、日本の魅力を、外からの視点を通して考えさせる。文法：疑問文、現在進行形
	LESSON3 [Mexican Dishes] 期末考査	・単元を通して、世界無形文化遺産であるメキシコ料理と、食文化について考えさせる。 文法：過去形、助動詞
2 学 期	LESSON4 [The Olympics] 中間考査	・単元を通して、近代オリンピックの発祥と理念、過去の理念、パラリンピックについて学ばせる。 文法：文型
	LESSON5 [Baobabs in Madagascar]	・単元を通して、バオバブが直面している問題を知り、どうしたら保護できるかを考えさせる。 文法：不定詞
	LESSON6 [Toothbrushing in Edo] 期末考査	・単元を通して、江戸時代の生活習慣(歯磨き)について学ばせる。文法：動名詞
3 学 期	LESSON7 [Machu Picchu]	・単元を通じて、世界遺産であるマチュ・ピチュについて考えさせる。文法：現在完了形
	LESSON8 [Motala and Landmines] 学年末考査	・単元を通して、人間の行っていることのどのような面をモタラの話が象徴しているか考えさせる。 文法：受け身
	LESSON9 [Dick Bruna] 続きは次年度に継続	・単元を通して、ディック・ブルーナの社会での役割について学ばせる。文法：関係代名詞

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による総合評価
------	-------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりする。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解する。	英語の学習を通して、言葉とその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身に付けている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	VISTA English Communication I New Edition(三省堂)
副教材	英和辞書「The New Victory Anchor」、辞書は友達(学研)